

部課名		選挙管理委員会事務局											
課の使命		○有権者のみならず、関係する人すべてに対する公平・公正な選挙の管理執行及び投票しやすい環境整備を行います。 ○投票意識の高揚をはかるため、明るい選挙推進委員等と連携し、効果的な啓発を実施します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	中間確認		年度末確認				
							上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	個別計画	公平・公正な選挙執行体制の確立	①事務従事者の障がい者対応ほか意識・知識向上に向けて動画等作成を行い、選挙事務従事者が効率的に研修を受講できるように準備をすすめます。 ② 選挙管理委員会事務局職員の能力を向上させるため、局内において研修会を実施します。 ③ 近隣市との選挙事務の包括連携協定等に基づき、期日前投票及び収支報告書類確認の実地研修を実施します。	①動画等の作成数 ②研修会の実施回数 ③実地研修の実施回数	①3本 ②5回 ③2回	○	①事務従事者の意識・知識向上に向けて「投票箱の組み立て方法」の動画を1本作成しました。 ②選挙管理委員会事務局職員の能力を向上させるため、八王子市との合同研修会を1回実施しました。 ③近隣市との包括連携協定に基づき、相模原市では期日前投票実地研修を行いました。また、八王子市では事前審査、立候補受付、期日前不在者投票事務、収支報告書・公費負担の実地研修を2回以上行いました。	①事務従事者の障がい者対応など、意識・知識向上に向けて他の動画を作成していきます。 ②選挙管理委員会事務局職員の能力を向上させるため、引き続き研修会を実施します。	①事務従事者の意識・知識向上に資するよう動画を作成しました。当初予定した投票箱、代理投票や点字投票に関する動画に加え、不在者投票に関する動画を作成しました。 ②職員的能力向上に向け職員研修を行いました。地方選挙の実地研修を踏まえた八王子市職員との合同研修会及び、東京都・全選連合同専門研修会に向けた事前研修を実施しました。 ③統一地方選挙において実地研修を行いました。相模原市及び八王子市で、事前審査、立候補受付、期日前・不在者投票事務、収支報告等受付の実地研修を行いました。	①4本 ②6回 ③7回	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	事務従事者の意識・知識向上に向けて動画を活用していきます。また円滑な選挙事務を行うことができるよう引き続き研修等を実施していきます
2	個別計画	投票環境の充実に向けた取り組み	市民の投票機会及び利便性の向上をはかるために検討を行います。	検討会の実施回数	3回	○	公共施設の再編及び新たな学校づくり等を踏まえ、期日前投票所や当日投票所の今後のあり方について、検討を2回行いました。	引き続き、市民の投票機会及び利便性の向上を図るために、期日前投票所や当日投票所の選定について検討を行います。	公共施設の再編や新たな学校づくり等を踏まえ、選定した候補地についてはさらに精査を調整をしていきます。投票所の今後のあり方について、引き続き検討を継続していきます。	6回	C	C:目標水準を達成したためです。	
3	個別計画	若年層及び障がい者への投票行動につながる啓発の実施	①過去の啓発で抽出した課題を整理し、より効果的に啓発できるように、検討会を実施して、手順や内容の見直しを行います。 ②若年層等と連携し、SNS、ホームページ等を活用した啓発を実施します。 ③若年層及び障がい者等への選挙出前講座等の啓発を実施します。	①検討会の実施回数 ②若年層と行う啓発の実施回数 ③若年層及び障がい者へ行う講座の実施回数	①2回 ②1回 ③30回	○	①過去の啓発事例から、今後の啓発に活用できる手順・改善点を整理するなど検討会を1回実施しました。 ②各学校に対して、啓発活動実施時にどのような連携ができるかを検討しました。 ③市内全ての小・中・高等学校に対して出前講座の案内を送付し、出前講座や模擬投票、選挙器材の貸出を36回実施しました。	①引き続き、啓発に使用している出前講座資料の改善に向けて検討会を実施します。 ②町田市学長懇談会幹事会にて周知を図ったうえで、大学等と連携し啓発を行います。 ③庁舎見学時の模擬投票や出前講座等、学校等の要望を踏まえ、若年層及び障がい者が実際の投票行動につながるよう、講座を実施します。	①より効果的な啓発となるよう資料や内容を見直しました。座学的な講義のほか参加型の講座内容の導入を検討し、児童生徒がグループワークを行うなどの内容を新たに設けました。 ②選挙管理委員会事務局でインターンシップや職場体験事業を行った際、SNSの活用など若年層の視点での啓発活動を行いました。また、特定の大学と連携した啓発活動の検討を行いました。 ③市内全ての小・中・高等学校及び福祉施設等に対して、出前講座や模擬投票、選挙器材の貸出を実施しました。	①3回 ②2回 ③66回	C	C:目標水準を達成したためです。	啓発の効果が表れるには時間を要しますが、今後も可能な限り若年層の目に留まるような啓発を実施していきます。